

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

聖隷こども園こうのとり富丘

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

コメント

一人ひとりの子どもに対等に寄り添っている。施設内にあるかすみあの子どもたちとの関りも定期的に持っており、お互いを認め合いながら過ごすという意識を感じることができた。自然に関わりが持てるようになるにはまだまだ時間がかかりそうだが、恵まれた環境であることを職員は理解しており、お互いが共に過ごすことで得られることがあると考えている。

園全体で温かな雰囲気を感じる。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

適切に人権を守りながら保育がされている。

関わる職員によって意識の差があり、無意識に行われていることで気になることがある場合は個別に園長が指導している。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

適切に管理されている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

いただいたご意見については、その都度園内で周知され、園長や主任が保護者と面談を行っている。改善策も示しながら適切に対応している。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

状況を園内で周知し、感染症が流行している時は日中の過ごし方も工夫をしている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

状況・内容によって会議で周知している。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

職員からあがってきている件について園長・主任で共有し、主任が中心となって業者へ修理依頼を行い、適切に対応している。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

コメント

まだ新しい園舎ということもあり、全体として清潔感が保たれている。園庭も整理されており、子どもにとって過ごしやすい環境であることを感じた。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

コメント

適切に配置されている。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4歳児

- ・ 保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・ あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗

り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

コメント

乳児クラスの食事前後の場面では、職員が子どもたちを信頼し、様子を見ながら声をかけている様子が伺われた。大人の都合で指示したり危険を伝えるだけでなく、子どもの姿を確認しつつ、基本的な信頼があることで見守りができていることを感じた。

2歳児の食事場面でも、基本的なマナーを伝えつつ、子どもの気持ちに寄り添うような温かな言葉がけが多くあった。そのような大人の言葉の中で育つ子どもたちは、お互いの存在を受け入れることができるようになるのではないかと思う。

幼児クラスの子どもたちは、4. 5歳児の混合クラスを中心に異年齢での関りが意識されていた。異年齢で過ごすことの課題も感じながら、それを共有できているように感じた。

他園への見学のあと、自分の保育について考えて実践に移している職員もおり、職員一人ひとりが意欲的に保育に向き合える環境であることが分かった。

【全体を通して】

コメント

ベテランのパート職員に支えられている部分も大きいですが、中堅の副主任が連携を取りながら園長・主任を支え、また若手職員の育成を行っていることが分かる。若手職員も先輩職員へ相談しやすさを感じているようだった。園全体が良い雰囲気であった。

目の前の子どもの姿から保育を考える姿勢も感じられる。

評価日 2024 年 1月 30日

評価者 園 名 聖隷こども園ひかりの子

役 職 聖隷こども園ひかりの子 園長

氏 名 岡田絵里子